

# 公益社団法人 物理探査学会

## 平成29年度通常総会資料

日 時 平成29年6月6日(火)13:10~15:20

場 所 東京 早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール

東京都新宿区西早稲田 1-20-14

### 総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 総会開始の宣言
4. 議 事

#### 決議事項

第1号議案 平成28年度事業報告及び決算報告承認の件

#### 報告事項

平成29年度事業計画及び予算について  
平成29年・30年度代議員

(休 憩)

5. 平成28年度 物理探査学会表彰
  - (1) 物理探査学会賞
  - (2) 優秀発表賞
  - (3) 学会運営功績賞
  - (4) 永年在籍会員表彰
6. 閉会の辞



# 第 1 号議案:平成28年度事業報告及び決算報告承認の件

## I. 平成 28 年度事業報告

平成 28 年度はこれまで実施してきた研究開発奨励事業, 探査技術の普及促進事業, 広報活動, 研究活動及び表彰等の事業を継続, 発展させるとともに, 会員へのサービスの拡大, 並びに一般社会への貢献活動にも力を注いでまいりました。

### 1. 学会事業活動

#### [1] 研究発表会の開催

##### (1) 第 134 回学術講演会

- ・開催日 平成 28 年 5 月 16 日(月)～ 5 月 18 日(水)
- ・開催場所 早稲田大学 国際会議場
- ・一般講演 口頭発表 49 件, ポスター発表 7 件
- ・特別講演  
「斜面崩壊発生場所に関する最近の研究進展と物理探査に期待するもの」  
千木良 雅弘(京都大学防災研究所)  
「日本が目指す火星衛星探査と将来の惑星内部探査」  
宮本 英昭(東京大学総合研究博物館)

- ・参加者 204 名

##### (2) 第 135 回学術講演会

- ・開催日 平成 28 年 10 月 26 日(水)～ 10 月 28 日(金)
- ・開催場所 室蘭工業大学 (北海道)
- ・一般講演 口頭発表 54 件, ポスター発表 10 件
- ・特別講演  
「我が国における地熱開発」 上滝 尚史(出光興産株式会社 資源部地熱課)  
「鳥瞰図に見る胆振を代表する温泉 -草創期から発展期の登別温泉と洞爺湖温泉のすがた-」  
藤本 和徳(特定非営利活動法人北海道自然エネルギー研究会)

- ・参加者 116 名

- ・見学会 洞爺湖有珠山ジオパーク 他

#### [2] 会誌, 書籍の編集発行等の事業

##### (1) 和文会誌発刊

和文誌「物理探査」は Vol.69, No.2～No.4 の 3 号を発行した。Vol.69, No.4 以降は電子化に移行した。

##### (2) 英文会誌発刊

豪州物理探査学会(ASEG)・韓国物理探査学会(KSEG) との共同で出版する英文誌「Exploration Geophysics」について 4 号(電子版)を発行した。

##### (3) 「物理探査ハンドブック増補改訂版」の出版

平成 11 年に発刊した「物理探査ハンドブック」の記載内容の一部を書き換えた「物理探査ハンドブック増補改訂版」を出版した。

##### (4) 技術資料等の頒布

以下の技術資料等の出版物を継続して頒布した。

- ・物理探査ハンドブック増補改訂版 冊子, CD 149 冊, CD139 枚
- ・旧版物理探査適用の手引き(英文) 4 冊

・最新の物理探査適用事例集 冊子・CD	11 冊
・新版物理探査適用の手引き 冊子・CD	26 冊
・会誌「物理探査」 DVD (第 1 巻～第 60 巻)	1 冊
・学術講演会論文集 DVD (第 43 回～第 118 回)	1 冊
・国際シンポジウム論文集 DVD (第 1 回～第 8 回)	1 冊
・学術講演会論文集 冊子, CD	6 冊, CD 6 枚
・地下を診る技術～驚異の物理探査～	104 冊

### [3] 研究開発, 調査, コンソーシアム活動等の事業

#### (1) 研究会活動

電気探査研究会, 地盤探査研究会および地震防災研究会は開催しなかった。

#### (2) 研究委員会活動

・統合物理探査研究委員会において, 物理探査技術が有用な調査技術として利用拡大されることを目的とし, 物理探査技術の適切な適用および探査結果の適切な解釈, 地盤の評価がプロジェクト全体に及ぼす効果について検討した。また, 全地連の「地盤情報電子データ標準化小委員会」に参画し, 物理探査結果電子納品要領素案」の作成に取り組んできた。

・PS 検層の成果品の品質向上, および報告書の標準化を目的として PS 検層技術委員会を立ち上げ, 活動を開始した。

#### (3) 委託研究

・平成 28 年度地熱調査等を目的とした空中電磁気探査法及び空中磁気探査法の手法検討作業〔独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (委託研究費 10,990,000 円)〕について, 空中物理探査研究委員会が実施した。

### [4] 講座, セミナーの開催, 関連学協会との協力等の事業

#### (1) 物理探査セミナー

- ・開催日 平成 28 年 6 月 27 日 (月) ～6 月 29 日 (水)
- ・開催場所 東京大学
- ・参加者 61 名

#### (2) ワンデーセミナー

- ・開催日 平成 29 年 2 月 6 日 (月)
- ・開催場所 東京大学 山上会館
- ・テーマ 地下情報可視化技術の最前線
- ・参加者 44 名

#### (3) キャンパスビジット

平成 28 度は, タイトルを「地球のお医者さん～物理探査～の最先端」として 2 回開催した。

① 開催日: 平成 28 年 6 月 27 日 (月), 開催場所: 北海道大学, 参加者 38 名

② 開催日: 平成 28 年 10 月 26 日 (水), 開催場所: 室蘭工業大学, 参加者 45 名

#### (4) 関連学協会との連携・協力

##### ① 国内関連学協会

(公社)日本地球惑星科学連合, (一社)資源・素材学会, (一社)日本リモートセンシング学会, 日本地熱学会, (公社)日本地震学会, (一社)日本応用地質学会, (公社)地盤工学会, (公社)計測自動制御学会, 石油技術協会と講演会等で相互に協力した。

##### ② 日本地球惑星科学連合大会

講演セッション「統合物理探査」の立ち上げと開催および学協会エリアでの学会要覧と入会

案内の配布を行った。

③ 日本応用地質学会と連携

日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会主催研究発表会を共催、参加した。

開催日：平成 28 年 6 月 17 日（金）

開催場所：土木研究所寒地土木研究所

参加者 55 名

④ 深田地質研究所との共催シンポジウム

公益財団法人深田地質研究所とシンポジウム「物理探査の評価と解釈の最前線」を共催、参加した。

開催日：平成 29 年 1 月 16 日（木）

開催場所：東京大学工学部 2 号館 211 号講義室

参加者 53 名

⑤ 地質・地盤情報協議会

国土交通省の委託を受け(一社)日本建築情報センターが開催する社会基盤情報標準化委員会・地質地盤情報電子データ標準化小委員会に(一社)全国地質調査業協会連合会の一員として参加し、物理探査に係わる電子納品について提案・協議した。

⑥ 海外関連学会

下記関連国際学会の講演会・年次総会に参加して国際交流を深めると共に、国際レベルの物理探査技術を会誌、ホームページ等を通じて紹介した。

- ・欧州物理探査学会(EAGE)
- ・米国物理探査学会(SEG)
- ・環境土木物理探査学会(EEGS)
- ・豪州物理探査学会(ASEG)
- ・韓国物理探査学会(KSEG)
- ・中国石油物理探査学会(SPG China)
- ・ベトナム物理探査学会(VGA)
- ・インドネシア物理探査学会(HAGI)

⑦ SEG 教育プログラムの開催支援

海外の関連学会 SEG が主催し、日本国内で実施する下記の物理探査技術の教育・普及活動に対して参加者の募集、会場の運営等、その支援を行った。

- ・2016 SEG/AAPG Distinguished Lecture（石油技術協会物探分科会との共催）

演題：Marine EM: The Past, The Present, and The Future ほか

講師：Steven Constable (Scripps Institution of Oceanography)

開催日：平成 28 年 8 月 5 日（金）

開催場所：国際石油開発帝石 会議室

参加者 85 名

- ・SEG 2016 Distinguished Instructor Short Course (DISC)

演題：3C Seismic and VSP: Converted Waves and Vector Wavefield Applications

講師：James Gaisere (Gaiser Geophysical Consulting)

開催日：平成 28 年 9 月 26 日（水）

開催場所：首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス

参加者 32 名

(5) 技術士継続教育活動

平成 28 年度も関係 7 学協会と連携して生涯学習支援システムの共同運営を継続し、会員の技術士継続教育活動をサポートした。

## [5] 物理探査に係る広報活動事業

### (1) 物理探査ニュース

「物理探査ニュース」No.30 から No.33 の 4 巻の発行を行い会員に配布するとともに関係機関に無償で配布した。また、物理探査ニュース 2016 ハイライトを関係機関に配布した。

### (2) ホームページ

学会ホームページを見易くかつ親しみやすいものへ更新し、WEB を通じて広報に係る活動を実施した。

### (3) 出版物の寄贈

学会が発行している「新版物理探査適用の手引きー土木物理探査マニュアル 2008ー」を関係機関に贈呈した。

## [6] 物理探査学に係る研究、活動に対する表彰事業

平成 28 年度通常総会において、平成 27 年度物理探査学会表彰を行った。

### (1) 物理探査学会賞

#### ① 論文賞

- ・受賞者 : 楠本 成寿
- ・対象論文: 楠本成寿(2015): 重力勾配テンソルの固有ベクトルを用いた断層あるいは構造境界の傾斜角の推定, 物理探査, 第 68 巻 4 号, 277-287.
- ・受賞者 : 高見 雅三, 山口 覚
- ・対象論文: 高見雅三・土谷富士夫・山口覚(2015): 季節凍土における電気探査(2)ー比抵抗法二次元解析による比抵抗構造からの凍土挙動の推定ー, 物理探査, 第 68 巻 4 号, 289-303

#### ② 事例研究賞

- ・受賞者 : 相澤隆 生, 伊東 俊一郎, 青野 泰大, 赤澤 正彦
- ・対象論文: 相澤隆生・伊東俊一郎・青野泰大・落合慶亮・八鳥雄介・中嶋啓太・赤澤正彦(2015): トンネル弾性波探査マニュアル(案)を適用したトンネル地質調査, 物理探査, 第 68 巻 2 号, 71-81.

#### ③ 奨励賞

- ・受賞者 : 木暮 哲 也
- ・対象論文: 小暮哲也・堀内侑樹・木山保・西澤修・薛自求・松岡俊文(2015): 分布式光ファイバーセンサーによる静水圧環境下におけるひずみ測定, 物理探査, 第 68 巻 1 号, 23-38.
- ・受賞者 : 笠松健太郎
- ・対象論文: 笠松健太郎・山中浩明・酒井慎一(2015): ラブ波を用いた波形インバージョンによる深部地盤の二次元 S 波速度構造の推定, 物理探査, 第 68 巻 4 号, 265-275.

### (2) 優秀発表賞

#### ① 第 132 回春季学術講演会

- ・口頭発表 : 楠田 溪, 辻 健, 池田 達紀
- ・ポスター発表 : 黒川 雅裕

#### ② 第 133 回秋季学術講演会

- ・口頭発表 : 木佐貫 寛, 楠田 溪

### (3) 永年在籍会員表彰

- ① 在籍 30 年以上, 満 70 歳以上

飯沼 清, 笠原 順三, 廉澤 宏, 楠 健一郎, 高屋 正, 寺島 正浩, 内藤 邦夫, 早川 清,  
正木 和明, 松枝 富士雄

② 50 年在籍賛助会員

該当なし

⑧ 30 年在籍賛助会員

該当なし

[7] その他目的を達成するために必要な事業

学会の活性化を図るため継続して学会業務の I T 化を推進すると共に, 学会ホームページの維持管理を行った。

図書のうち、在庫過多のものについて廃棄した。

2. 学会の経営・運営に関する会議の開催

[1] 通常総会

平成 28 年 5 月 17 日(火), 東京, 早稲田大学西早稲田キャンパスにて開催した。

[2] 理事会

下記のとおり理事会を開催した。

第 84 回理事会	平成 28 年 4 月 15 日	物理探査学会会議室
第 85 回理事会	平成 28 年 7 月 12 日	物理探査学会会議室
第 86 回理事会	平成 28 年 10 月 14 日	物理探査学会会議室
第 87 回理事会	平成 29 年 1 月 23 日	物理探査学会会議室

3. 会員状況

	平成 28 年 3 月末	平成 29 年 3 月末	増 減
名誉会員	23 名	22 名	1 名減
正会員 (うち学生会員)	1165 名 45 名	1150 名 53 名	15 名減 8 名増
賛助会員	108 社 222 口	107 社 222 口	1 社減口数増減なし

以上

I. 平成 28 年度決算報告

## 貸借対照表

平成29年 3月31日現在

公益社団法人 物理探査学会  
公益目的会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,359,264	18,599,076	△ 2,239,812
売掛金	89,660	121,380	△ 31,720
未収金	11,199,475	10,173,600	1,025,875
棚卸資産	3,362,671	1,845,658	1,517,013
立替金	0	557,344	△ 557,344
仮払金	97,000	0	97,000
流動資産合計	31,108,070	31,297,058	△ 188,988
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
公益目的運用特定資産	21,000,000	21,000,000	0
特定資産合計	21,000,000	21,000,000	0
(3) その他固定資産			
敷金	660,000	660,000	0
その他固定資産合計	660,000	660,000	0
固定資産合計	21,660,000	21,660,000	0
資産合計	52,768,070	52,957,058	△ 188,988
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,171,957	0	1,171,957
未払費用	200,000	0	200,000
前受金	0	488,240	△ 488,240
前受会費	31,500	103,500	△ 72,000
預り金	88,561	89,512	△ 951
未払消費税等	76,000	677,700	△ 601,700
流動負債合計	1,568,018	1,358,952	209,066
負債合計	1,568,018	1,358,952	209,066
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	51,200,052	51,598,106	△ 398,054
(うち特定資産への充当額)	21,000,000	21,000,000	0
正味財産合計	51,200,052	51,598,106	△ 398,054
負債及び正味財産合計	52,768,070	52,957,058	△ 188,988

## 正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	3,177	5,247	△ 2,070
受取会費	12,296,550	13,376,030	△ 1,079,480
正会員会費収入	7,756,550	9,036,030	△ 1,279,480
賛助会員会費収入	4,540,000	4,340,000	200,000
事業収益	25,285,822	30,059,572	△ 4,773,750
開催事業収入	5,843,880	10,788,640	△ 4,944,760
受取投稿料	783,000	232,200	550,800
頒布事業収入	7,459,467	2,352,732	5,106,735
受託事業	11,199,475	16,686,000	△ 5,486,525
受取補助金	148,000	4,198,000	△ 4,050,000
受取寄付金	1,350,480	1,588,080	△ 237,600
一般寄付金	1,350,480	1,588,080	△ 237,600
雑収入	776,029	310,928	465,101
<b>経常収益計</b>	<b>39,860,058</b>	<b>49,537,857</b>	<b>△ 9,677,799</b>
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>	<b>37,296,484</b>	<b>43,235,686</b>	<b>△ 5,939,202</b>
給料手当	5,593,111	5,322,768	270,343
臨時雇賃金	1,105,000	1,151,500	△ 46,500
退職給付費用	425,197	408,136	17,061
福利厚生費	378,972	446,020	△ 67,048
旅費交通費	1,857,811	2,375,803	△ 517,992
会議費	374,516	1,225,570	△ 851,054
通信運搬費	986,121	738,345	247,776
消耗品費	389,214	321,162	68,052
印刷製本費	4,379,953	4,738,475	△ 358,522
光熱水料費	374,709	325,128	49,581
賃借料	6,336,637	8,336,893	△ 2,000,256
保険料	8,867	8,513	354
諸謝金	1,402,252	2,109,114	△ 706,862
出版物原価	3,845,629	862,400	2,983,229
支払負担金	159,044	153,548	5,496
表彰品費	79,200	179,076	△ 99,876
支払寄付金	0	202	△ 202
支払奨励金	20,000	19,200	800
支払手数料	246,504	404,793	△ 158,289
租税公課	370,631	591,955	△ 221,324
委託費	8,821,309	13,033,896	△ 4,212,587
雑費	96,771	483,189	△ 386,418
<b>管理費</b>	<b>2,961,628</b>	<b>2,692,165</b>	<b>269,463</b>
給料手当	720,889	937,232	△ 216,343
退職給付費用	54,803	71,864	△ 17,061
福利厚生費	48,846	78,535	△ 29,689
旅費交通費	55,206	75,243	△ 20,037
会議費	9,879	13,550	△ 3,671
通信運搬費	20,603	29,095	△ 8,492
消耗品費	37,010	41,265	△ 4,255
印刷製本費	11,705	20,651	△ 8,946
光熱水料費	44,540	49,698	△ 5,158
賃借料	523,447	637,938	△ 114,491
保険料	1,143	1,497	△ 354
支払手数料	23,812	28,915	△ 5,103
租税公課	47,769	101,585	△ 53,816
支払負担金	3,996	4,492	△ 496
委託費	73,206	114,449	△ 41,243
雑費	1,284,774	486,156	798,618
<b>経常費用計</b>	<b>40,258,112</b>	<b>45,927,851</b>	<b>△ 5,669,739</b>
<b>評価損益調整前当期増減額</b>	<b>-398,054</b>	<b>3,610,006</b>	<b>△ 4,008,060</b>
<b>評価損益等計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>-398,054</b>	<b>3,610,006</b>	<b>△ 4,008,060</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 経常外費用			
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>税引前一般正味財産増減額</b>	<b>-398,054</b>	<b>3,610,006</b>	<b>△ 4,008,060</b>
法人住民事業税	0	0	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>-398,054</b>	<b>3,610,006</b>	<b>△ 4,008,060</b>
一般正味財産期首残高	51,598,106	47,988,100	3,610,006
一般正味財産期末残高	51,200,052	51,598,106	△ 398,054
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>51,200,052</b>	<b>51,598,106</b>	<b>△ 398,054</b>

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

	公益目的 事業会計	法人会計	合計
<b>科 目</b>			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	3,177	0	3,177
受取会費	8,418,275	3,878,275	12,296,550
正会員会費収入	3,878,275	3,878,275	7,756,550
賛助会員会費収	4,540,000	0	4,540,000
事業収益	25,285,822	0	25,285,822
開催事業収入	5,843,880	0	5,843,880
受取投稿料	783,000	0	783,000
頒布事業収入	7,459,467	0	7,459,467
受託事業	11,199,475	0	11,199,475
受取補助金	148,000	0	148,000
受取寄付金	1,350,480	0	1,350,480
一般寄付金	1,350,480	0	1,350,480
雑収入	773,946	2,083	776,029
<b>経常収益計</b>	<b>35,979,700</b>	<b>3,880,358</b>	<b>39,860,058</b>
(2) 経常費用			
事業費	37,296,484	0	37,296,484
給料手当	5,593,111	0	5,593,111
臨時雇賃金	1,105,000	0	1,105,000
退職給付費用	425,197	0	425,197
福利厚生費	378,972	0	378,972
旅費交通費	1,857,811	0	1,857,811
会議費	374,516	0	374,516
通信運搬費	986,121	0	986,121
消耗品費	389,214	0	389,214
修繕費	45,036	0	45,036
印刷製本費	4,379,953	0	4,379,953
光熱水料費	374,709	0	374,709
賃借料	6,336,637	0	6,336,637
保険料	8,867	0	8,867
諸謝金	1,402,252	0	1,402,252
出版物原価	3,845,629	0	3,845,629
支払負担金	159,044	0	159,044
表彰品費	79,200	0	79,200
支払寄付金	0	0	0
支払奨励金	20,000	0	20,000
支払手数料	246,504	0	246,504
租税公課	370,631	0	370,631
委託費	8,821,309	0	8,821,309
雑費	96,771	0	96,771
管理費	0	2,961,628	2,961,628
給料手当	0	720,889	720,889
退職給付費用	0	54,803	54,803
福利厚生費	0	48,846	48,846
旅費交通費	0	55,206	55,206
会議費	0	9,879	9,879
通信運搬費	0	20,603	20,603
消耗品費	0	37,010	37,010
印刷製本費	0	11,705	11,705
光熱水料費	0	44,540	44,540
賃借料	0	523,447	523,447
保険料	0	1,143	1,143
支払手数料	0	23,812	23,812
租税公課	0	47,769	47,769
支払負担金	0	3,996	3,996
委託費	0	73,206	73,206
雑費	0	1,284,774	1,284,774
<b>経常費用計</b>	<b>37,296,484</b>	<b>2,961,628</b>	<b>40,258,112</b>
<b>評価損益調整前当期増減額</b>	<b>△ 1,316,784</b>	<b>918,730</b>	<b>△ 398,054</b>
評価損益等計	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 1,316,784</b>	<b>918,730</b>	<b>△ 398,054</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 1,316,784</b>	<b>918,730</b>	<b>△ 398,054</b>
一般正味財産期首残高	23,220,029	28,378,077	51,598,106
一般正味財産期末残高	21,903,245	29,296,807	51,200,052
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>21,903,245</b>	<b>29,296,807</b>	<b>51,200,052</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準方法は、先入先出法による原価法を採用している。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等は税込処理を行っている。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
公益目的運用特定資産	21,000,000	0	0	21,000,000
合 計	21,000,000	0	0	21,000,000

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等は、一般正味財産からの充当額である。

### 4. 担保に供している資産

該当なし。

### 5. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

### 6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
学会補助金	早稲田大学	0	148,000	148,000	0	
合 計		0	148,000	148,000	0	

### 7. 重要な後発事象

該当なし。

# 財産目録

平成29年 3月31日現在

公益社団法人 物理探査学会  
公益目的会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金	手元保管	運転資金として	10,247	
		普通預金		7,209,208	
		三菱東京UFJ・大森支店		5,933,947	
		三井住友・大森支店		296,747	
		三井住友・浅草橋支店		183,255	
		三菱東京UFJ・大森支店		72,652	
		三菱東京UFJ・大森支店		1,529	
		国際交流基金		710,548	
		物理探査研究開発基金		10,530	
		郵便貯金		9,139,809	
		岩本郵便局・普通		3,421,089	
	岩本郵便局・普通	4,680,019			
岩本郵便局・普通	1,038,701				
売掛金			89,660		
未収金	JOGMEC受託業務精算払金		11,199,475		
棚卸資産	書籍在庫品を倉庫にて管理		3,362,671		
仮払金	交通費等		97,000		
流動資産合計				31,108,070	
(固定資産)	特定資産	定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	21,000,000	
				三井住友・大森支店	11,000,000
				三菱東京UFJ・大森支店	10,000,000
	その他固定資産	敷金		本部敷金であり、2/3を公益事業の用に供している	660,000
固定資産合計				21,660,000	
資産合計				52,768,070	
(流動負債)	未払金 未払費用 前受会費 預り金 未払消費税等	前納会費 源泉、保険料等の預り金	事務職員預かり分	1,171,957	
				200,000	
				31,500	
				88,561	
				76,000	
流動負債合計				1,568,018	
負債合計				1,568,018	
正味財産				51,200,052	

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2に記載のとおりである。

# 監査報告書

公益社団法人 物理探査学会  
会長 山中 浩明 殿

平成 29 年 4 月 14 日

公益社団法人 物理探査学会

監事 相澤隆生 

監事 西田大介 

私たちは、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの平成 28 年度における業務の監査を行い、次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法及び内容

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他重要な会議に出席し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。

## 2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益状況を全ての重要な点において適正に表示していると認めます。
- (2) 事業報告書の内容は事実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

# 平成29年度事業計画

## I. 平成 29 年度事業計画

平成 29 年度は、これまで実施してきた研究開発奨励促進事業，探査技術の普及促進事業，広報活動，研究活動及び表彰等の事業を継続し，従来に増して発展させるとともに，会員へのサービスの拡大並びに一般社会への貢献にこれまで以上に力を注いで学会活動の充実を図ります。

### 1. 学会事業活動

#### [1] 研究発表会の開催

物理探査学に係る研究開発の奨励促進を図るために以下の事業を実施する。

##### (1) 第 136 回学術講演会

- ・開催日 平成 29 年 6 月 5 日(月)～ 6 月 7 日(水)
- ・開催場所 早稲田大学 国際会議場 (東京)

##### (2) 第 137 回学術講演会

- ・開催日 平成 29 年 11 月 8 日(水)～11 月 10 日(金)
- ・開催場所 東京工業大学すずかけ台キャンパス (神奈川)

#### [2] 会誌，書籍の編集発行等の事業

##### (1) 和文会誌発刊

和文誌「物理探査」は平成 29 年 1 月から電子版に移行した。

##### (2) 英文会誌発刊

豪州物理探査学会(ASEG)・韓国物理探査学会(KSEG)との共同で出版する英文誌「Exploration Geophysics」について 4 号(電子版)を発行する。

##### (3) 技術資料等の頒布

既存の以下の技術資料等の出版物を継続して頒布する。

- ・旧版物理探査適用の手引き(英文)
- ・最新の物理探査適用事例集 冊子・CD
- ・新版物理探査適用の手引き 冊子・CD
- ・会誌「物理探査」 DVD (第 1 巻～第 60 巻)
- ・学術講演会論文集 DVD (第 43 回～第 118 回)
- ・国際シンポジウム論文集 DVD (第 1 回～第 8 回)
- ・学術講演会論文集(冊子, CD)
- ・新版物理探査適用の手引き(英文)
- ・地下を診る技術～驚異の物理探査～
- ・物理探査ハンドブック増補改訂版

#### [3] 研究開発，調査，コンソーシアム活動等の事業

##### (1) 研究会活動

当期年度内に地盤探査研究会，電気探査研究会ならびに地震防災研究会活動を積極的に行う。

##### (2) 研究委員会活動

・統合物理探査調査研究委員会は、活動を 1 年延長して委員会成果の取りまとめ，活用方法について検討を行なう。また，電子納品については，平成 28 年度に作成した「物理探査結果電子納品要領素案」は原案として JACIC 報告書に掲載される見込みである。物理探

査電子納品の実施に向けて、全地連と連携して普及啓蒙活動を行なう。

- ・ PS 検層技術委員会において、PS 検層の成果品の品質向上、および報告書の標準化について検討する。

#### [4] 講座、セミナーの開催、関連学協会との協力等の事業

##### (1) 物理探査セミナー

- ・ 開催日 平成 29 年 7 月 4 日～6 日を予定
- ・ 開催場所 東京大学

##### (2) ワンデーセミナー

- ・ 開催日 平成 30 年 2 月上旬を予定
- ・ 開催場所 首都圏

##### (3) キャンパスビジット

- ・ 開催日 平成 29 年 6 月 26 日を予定
- ・ 開催場所 北海道大学工学部での開催を予定

##### (4) 関連学協会との連携・協力

###### ① 国内関連学協会

(公社)日本地球惑星科学連合、(一社)資源・素材学会、(一社)日本リモートセンシング学会、日本地熱学会、(公社)日本地震学会、(一社)日本応用地質学会、(公社)地盤工学会、(公社)計測自動制御学会、(公社)土木学会、(一社)全国地質調査業協会連合会、石油技術協会と講演会等で相互に協力する。

###### ② 日本地球惑星科学連合大会

日本地球惑星連合大会 JpGU-AGU Joint Meeting 2017 における三つのセッション「空中からの地球計測とモニタリング」、「浅層物理探査」、「Enhancing Scientific and Societal Understanding of Geohazards in an Engaged Global Community」への共催、および学協会デスクスペースでのブース展示を行う。

###### ③ 日本応用地質学会との連携

土木建設分野における地質調査の精度向上を目指し、(一社)日本応用地質学会と研究委員会を開催する。

###### ④ 地質地盤情報電子データ標準化小委員会

委員会終了後、物理探査電子納品の実施に向けて、調査研究委員会を設立する予定である。(一社)全国地質調査業協会連合会と連携を図り、物理探査電子納品の普及、啓蒙活動を行なう。

###### ⑤ 海外関連学会

下記関連国際学会の講演会・年次総会に参加して国際交流を深めると共に、国際レベルの物理探査技術を会誌、ホームページ等を通じて紹介する。

- ・ 欧州物理探査学会(EAGE)
- ・ 米国物理探査学会(SEG)
- ・ 環境土木物理探査学会(EEGS)
- ・ 豪州物理探査学会(ASEG)
- ・ 韓国物理探査学会(KSEG)
- ・ 中国石油物理探査学会(SPG China)
- ・ ベトナム物理探査学会(VGA)
- ・ インドネシア物理探査学会(HAGI)

###### ⑥ SEG および EAGE 教育プログラムの開催支援

海外の関連学会 SEG および EAGE が主催し、日本国内で実施する下記の物理探査技術の教育・普及活動に対して本年度も参加者の募集、会場の運営等、その支援を行う。

・ SEG 2017 Distinguished Instructor Short Course (DISC)

演 題：Electromagnetics Fundamentals and Applications

講 師：Doug Oldenburg (University of British Columbia)

日 時：平成 29 年 5 月を予定

場 所：都内を予定

・ SEG 2017 Honorary Lecture (HL)

演 題：A Hitchhiker' s Guide to Geophysics

講 師：Koya Suto (Terra Australis Geophysica)

日 時：平成 29 年 5 月 19 日

場 所：東京大学本郷キャンパス工学部 3 号館 3 階 321 教室

(5) 技術士継続教育活動

平成 29 年度も関係 7 学協会と連携して生涯学習支援システムの共同運営を継続し、会員の技術士継続教育活動をサポートする。

[5] 物理探査に係る広報活動事業

(1) 物理探査ニュース

「物理探査ニュース」No.34 から No.37 の 4 巻の発行を行い、会員に配布するとともに物理探査に係る機関に広く無償で配布する。また、一般向けに 2017 年ハイライト(総集編)の発行を行う。

(2) ホームページ

学会ホームページをさらに見易くかつ親しみやすいものへ更新し、WEB を通じて広報に係る活動を実施する。

[6] 物理探査学に係る研究、活動に対する表彰事業

平成 29 年度において、以下の表彰等を行う。

(1) 物理探査学会賞

①論文賞，事例研究賞，業績賞

会誌に発表された論説・論文・短報の中から特に優秀なものに物理探査学会論文賞を，ケーススタディ・技術報告の中から特に優秀なものに同事例研究賞を，また，探査技術の進歩に寄与あるいは著しい探査成果をあげた業績の中から特に優秀なものに同業績賞を授与する。

② 物理探査学会奨励賞

若手会員の活動を評価・支援するべく奨励賞を授与する。

(2) 学術講演会等における最優秀発表賞および優秀発表賞

学術講演会等の活性化と技術の向上を図るため，最優秀発表賞と若手研究者，技術者(35 歳以下)を対象とした優秀発表賞を授与する。

(3) 学会運営功績賞

運営発展に特段の功績があった会員あるいは団体に学会運営功績賞を授与する。

(4) 永年在籍会員表彰

在籍 30 年かつ満 70 歳を超える正会員，および在籍 30 年に達した賛助会員とさらに 20 年に達した賛助会員に授与する。

(5) 名誉会員表彰

満 70 歳を超え会長の経験者または物理探査に関する学術，技術の発展に大きな貢献があった会員，あるいは会員歴 30 年以上でかつ 10 年以上本学会の役員を勤め学会の運営発展，

学術・技術貢献，学会発展に貢献があった会員に授与する。

**[7] その他目的を達成するために必要な事業**

学会の活性化を図るため継続して学会業務の I T 化を推進すると共に，学会ホームページの維持管理を行う。

**2. 学会の経営・運営に関する会議の開催**

**[1] 通常総会**

平成 29 年 6 月 6 日(火)，東京，早稲田大学国際会議場井深大ホールにて開催する。

**[2] 理事会**

平成 29 年度中に 4 回開催する。

**[3] 運営幹事会**

平成 29 年度中に必要に応じて開催する。

## Ⅱ. 平成 29 年度収支予算

公益社団法人 物理探査学会

平成29年度 収支予算書

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,100	0	2,100
受取会費	9,478,773	3,523,227	13,002,000
正会員会費収入	5,278,773	3,523,227	8,802,000
賛助会員会費収	4,200,000	0	4,200,000
事業収益	9,919,800	0	9,919,800
開催事業収入	5,649,800	0	5,649,800
受取投稿料	65,000	0	65,000
頒布事業収入	4,205,000	0	4,205,000
受取補助金	140,000	0	140,000
受取寄付金	1,600,000	0	1,600,000
雑収入	370,000	0	370,000
<b>経常収益計</b>	<b>21,510,673</b>	<b>3,523,227</b>	<b>25,033,900</b>
(2) 経常費用			
事業費	21,510,673	0	21,510,673
給料手当	4,796,648	0	4,796,648
臨時雇賃金	180,000	0	180,000
退職給付費用	362,011	0	362,011
福利厚生費	377,095	0	377,095
旅費交通費	939,888	0	939,888
会議費	149,503	0	149,503
通信運搬費	676,415	0	676,415
消耗品費	184,839	0	184,839
印刷製本費	3,430,003	0	3,430,003
光熱水料費	287,125	0	287,125
賃借料	5,181,363	0	5,181,363
保険料	7,542	0	7,542
諸謝金	430,000	0	430,000
出版物原価	1,337,635	0	1,337,635
支払負担金	78,648	0	78,648
表彰品費	180,000	0	180,000
支払手数料	201,422	0	201,422
租税公課	303,800	0	303,800
委託費	2,212,514	0	2,212,514
雑費	191,795	0	191,795
管理費	0	3,523,227	3,523,227
給料手当	0	1,563,352	1,563,352
退職給付費用	0	117,989	117,989
福利厚生費	0	122,905	122,905
旅費交通費	0	140,112	140,112
会議費	0	29,497	29,497
通信運搬費	0	41,788	41,788
消耗品費	0	49,161	49,161
印刷製本費	0	29,497	29,497
光熱水料費	0	72,875	72,875
賃借料	0	1,077,437	1,077,437
保険料	0	2,458	2,458
支払手数料	0	54,078	54,078
支払負担金	0	23,352	23,352
委託費	0	147,486	147,486
雑費	0	53,667	53,667
<b>経常費用計</b>	<b>21,510,673</b>	<b>3,523,227</b>	<b>25,033,900</b>
評価損益調整前当期増減額	0	0	0

## 平成29年・30年度代議員

物理探査学会規則第3章に基づき、代議員選挙の公示を決議し、平成28年12月15日～平成29年1月31日の間、代議員候補者の公募を実施致しました。その結果、定数80～120名に対し、下記のとおり104名の推薦があり、代議員選挙管理委員会による資格審査を経るとともに本人の意思確認を行った後代議員となりました。なお、選任された役員任期は平成31年度の通常総会において次期代議員が選任されるまでの2年間となります。

### 平成29年度、30年度代議員名簿

氏名	所属	氏名	所属
赤澤 正彦	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	武田 祐啓	住鉱資源開発(株)
東 宏幸	(公財)地球環境産業技術研究機構	田中 啓二	三菱マテリアルテクノ(株)
足立 幾久	大和探査技術(株)	千田 敬二	大日本コンサルタント(株)
阿部 進	石油資源開発(株)	筒井 智樹	秋田大学
池上 徹	シュルンベルジェ(株)	綱崎 勝	大阪ガス(株)
石橋 利久	JX日鉱日石探開(株)	鶴 哲郎	東京海洋大学
伊東 俊一郎	サンコーコンサルタント(株)	手塚 和彦	石油資源開発(株)
稲崎 富士	(国研)土木研究所	徳丸 哲義	徳丸技術事務所
井上 敬資	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構	利岡 徹馬	(公財)地球環境産業技術研究機構
今井 博	サンコーコンサルタント(株)	友田 博之	伊藤忠テクノソリューションズ(株)
今村 杉夫	(有)地圏探査技術研究所	中田 晴弥	地熱技術開発(株)
岩本 鋼司	応用地質(株)	永野 宏治	室蘭工業大学
浴 信博	大和探査技術(株)	中山 圭子	早稲田大学
大野 裕記	四国電力(株)	西谷 忠師	秋田大学
岡田 聡	応用地質(株)	野田 克也	(株)ジオシス
尾西 恭亮	国立研究開発法人 土木研究所	橋本 裕司	応用地質(株)
香川 敬生	鳥取大学	長谷川 信介	応用地質(株)
笠置 敏郎	日鉄鉱コンサルタント(株)	羽藤 正実	技術士事務所ジオパートナー
笠谷 貴史	(国研)海洋研究開発機構	馬場 久紀	東海大学
柏原 功治	石油資源開発(株)	林 宏一	Geometrics
梶原 竜哉	地熱エンジニアリング(株)	平林 伸康	シュルンベルジェ(株)
片山 弘行	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	福岡 晃一郎	(株)九州ジオフィジックス
金田 義行	香川大学	藤川 真治	ジオテクノス(株)
河合 展夫	(株)地球科学総合研究所	古村 孝志	東京大学
河村 茂樹	日本物理探査(株)	程塚 保行	(株)地球科学技術研究所
菅 公男	北光ジオリサーチ(株)	堀田 淳	(株)ジオテック
城所 和夫	地質計測(株)	幕内 歩	日鉄鉱業(株)
木村 和洋	(株)物理計測コンサルタント	松岡 稔幸	(国研)日本原子力研究開発機構
楠本 成寿	富山大学	松原 由和	応用地質(株)
倉橋 稔幸	(国研)土木研究所	松山 隆	国際石油開発帝石株式会社
小澤 岳史	(株)地球科学総合研究所	水越 育郎	石油資源開発(株)
後藤 忠徳	京都大学	水永 秀樹	九州大学
斎藤 章	早稲田大学	三塚 隆	地質計測(株)
齊藤 猛	(株)ジオフィールド	宮腰 研	(一財)地域地盤環境研究所
佐伯 龍男	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	村尾 英彦	(株)村尾地研
佐々木 吾郎	(株)日本地下探査	村田 泰章	(国研)産業技術総合研究所
佐々木 裕	(株)TANSA Geophysical	森 充広	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構
佐藤 龍也	地熱技術開発(株)	森谷 祐一	東北大学
真田 佳典	(国研)海洋研究開発機構	山口 和雄	(国研)産業技術総合研究所
志賀 信彦	三井金属資源開発(株)	山下 善弘	応用地質(株)
島 裕雅	応用地質(株)	山田 伸之	高知大学
清水 信之	(株)地球科学総合研究所	山田 正則	(株)地球科学総合研究所
荘司 泰敬	応用地質(株)	山中 義彰	サンコーコンサルタント(株)
神宮司 元治	(国研)産業技術総合研究所	山根 照真	石油資源開発(株)
杉本 芳博	(株)ダイヤコンサルタント	山本 俊六	(公財)鉄道総合技術研究所
杉山 長志		横田 俊之	(国研)産業技術総合研究所
鈴木 文大	日本物理探査(株)	横田 裕	(株)阪神コンサルタンツ
薛 自求	(公財)地球環境産業技術研究機構	吉田 武志	日本物理探査(株)
高井 伸雄	北海道大学	吉村 公孝	原子力発電環境整備機構
高市 和義	伊藤忠テクノソリューションズ(株)	世森 祐一	大和探査技術(株)
高倉 伸一	(国研)産業技術総合研究所	林 叔民	(株)物理計測コンサルタント
高橋 亨	(公財)深田地質研究所	渡邊 貴大	国際石油開発帝石(株)

## 平成 28 年度 物理探査学会表彰

### (1) 第 57 回 (平成 28 年度) 物理探査学会賞

#### 論文賞

- ・受賞者 : Sabry Abd Allah・伊藤久敏・茂木 透・城森 明・結城洋一・海江田秀志・鈴木浩一
- ・対象論文: 1) Sabry Abd Allah, Toru Mogi, Hisatoshi Ito, Akira Jomori, Youichi Yuuki, Elena Fomenko, Kenzo Kiho, Hideshi Kaieda, Koichi Suzuki and Kazuhiro Tsukuda (2014): Three-dimensional resistivity modelling of grounded electrical-source airborne transient electromagnetic (GREATEM) survey data from the Nojima Fault, Awaji Island, south-east Japan, Exploration Geophysics, 45(1), 49-61.  
2) Hisatoshi Ito, Hideshi Kaieda, Toru Mogi, Akira Jomori and Youichi Yuuki (2014): Grounded electrical-source airborne transient electromagnetics (GREATEM) survey of Aso Volcano, Japan. Exploration Geophysics, 45(1), 43-48.

#### 事例研究賞

- ・受賞者 : 尾西恭亮・杉本芳博・岩崎好規
- ・対象論文: Kyosuke Onishi, Tomochika Tokunaga, Yoshihiro Sugimoto, Naoyuki Yamada, Mohamed Metwaly, Katsuro Mogi, Ichita Shimoda, Yoshinori Iwasaki (2014): Identifying damaged areas inside a masonry monument using a combined interpretation of resistivity and ground-penetrating radar data Exploration Geophysics 45 (3), 177-188, 2014

#### 奨励賞

- ・受賞対象なし

### (2) 優秀発表賞

#### 最優秀発表賞

#### ① 第 134 回春季学術講演会 (東京 早稲田大学)

丸山純也 (秋田大学)

対象: 丸山 純也・坂中 伸也: 2.5 次元任意多角柱モデルで計算される磁気異常解析法

#### ② 第 135 回秋季学術講演会 (室蘭工業大学)

斎藤秀雄 (日本 CCS 調査)

対象: 斎藤秀雄・土屋 真・棚瀬大爾: 苫小牧 CCS 実証試験における自然地震および微小振動モニタリング

#### 優秀発表賞

#### ① 第 134 回春季学術講演会 (東京 早稲田大学)

・口頭発表

佐藤真也

対象: 佐藤 真也・後藤 忠徳・笠谷 貴史・川田 佳史: 独立成分分析を用いた海底電場データのノイズ除去の試み

新部貴夫

対象：新部 貴夫・青木 直史・佐藤 馨・阿部 進・福田 真人：地熱地域の反射法調査における静補正処理の課題 —山川弾性波探査実証試験における取り組み

・ポスター発表

黒川雅裕（早稲田大学）

対象：黒川 雅裕・横瀬 隆司・高橋 光馬・田中 宏和・竹内 睦雄・香村 一夫：電気探査比抵抗法による廃棄物埋立層内の水みち探索

② 第 135 回秋季学術講演会（室蘭工業大学）

・口頭発表

新色隆二（地科研）

対象：新色隆二・東中基倫（地科研），土屋 真・斎藤秀雄（日本 CCS 調査），薛 自求・利岡徹馬（RITE）：地震干渉法による苫小牧 CCS 地点の地下構造イメージングとモニタリングへの適用可能性

佐藤真也（京大）

対象：佐藤真也・後藤忠徳（京大），笠谷貴史（JAMSTEC），川田佳史（東北大），市原寛（神戸大）：周波数領域独立成分分析を用いた MT 海底電場データのノイズ除去の試み

吉川友哉（早大理工）

対象：吉川友哉（早大理工），伊勢崎修弘（東海大），斎藤 章・太田雄歩（早大理工）：海底熱水鉱床を対象とした ROV による 3 成分磁気測定結果の解析」

・ポスター発表

池田 啓介（九州大学）

対象：池田 啓介・水永 秀樹・田中 俊昭：鬼ヶ浦横穴墓の地中レーダ探査と 2D シミュレーション

(3) 学会運営功績賞

渡辺 文雄

対象：公益社団法人としての基盤確立と円滑な学会運営と財政健全化に貢献

(4) 永年在籍会員表彰

① 在籍 30 年以上，満 70 歳以上

斎藤 章，斎藤 猛，竹内 睦雄，徳山 英一，西ヶ谷 修，藤原 八笛，吉岡 修，吉田 庄太

② 50 年在籍賛助会員

地質計測株式会社

③ 30 年在籍賛助会員

株式会社日さく

以上

